

東京の木育 「東京の木を知る体験ツアー」

株式会社 長谷川萬治商店
副社長 長谷川 泰治

株式会社 長谷川萬治商店は「木育」を積極的に推進している企業として、東京都が企画した東京の木を知ると題した「東京木育体験ツアー、多摩産材木工・工作コンクール、多摩産材副教材利用」を主力事業概要とする年間企画を受託しました。

第1弾として東京の森が健全に管理され“森林の循環”につながることを理解していただくための東京木育体験ツアー第1回目を去る7月26日に実施し、森林・林業と接する機会の少ない都民に対して“森林や木と触れ合う”機会を提供、原体験として木材や森林とのかかわりを深め、東京の森づくりへの理解や参加を目指すという「東京都の木育」の目的を踏まえ、小学生とその保護者にその機会を提供したものです。

酷暑が予想され、熱中症を心配していましたが当日だけは曇りで気温も低下、トラブルも無く、計画を無事完了させることが出来ました。

行程を写真と共にご紹介いたします。

JR武蔵五日市駅 9:30集合（参加者 保護者8名 小学生11名 計19名）



駅舎説明

多摩産材が駅構内にふんだんに使用されていることを実見
豊富に使用された多摩産材の壁、柱に参加者はびっくり

バスで移動



田中林業様コテージ到着
檜原村で民間企業として人工林を所有・経営
コテージを利用したの散策・川遊びが可能



東京の森について説明
(多摩地区森林が都の面積の約3割を占める)



同社私有林散策
(整然と植えられた人工林のすばらしさを体感)



下草狩り体験
(伐採・利用・植栽・保育という森林の循環に大切な作業)



昼食時 川遊び体験
(森林内を流れる川は涼感を満喫でき、子供にとっては
絶好の遊び場)

昼食後

沖倉製材所様へ移動



製材工場：丸太皮むき



実際に運転台に上り、皮むき工程を見る



製材機械の稼働を実見



皮むきされた丸太を製材して板を取る



木の内部構造を見て、節の状態を知り、年輪の数を数え樹齢を知る



木工体験：親子でペン立て作り
杉を材料として親子でペン立て作りを楽しむ

JR 武蔵五日市駅 16:15 解散

樹齢180年の杉の木を背景に森の歴史、育林の難しさを説明いただき保護者の方は納得顔、小学生低学年はわかんないなあという顔をしながらも立派な杉の木が並ぶ勇壮な森を眺めて気持ちよさそうに聞き入っていました。

製材工場では年輪や節のことの説明を受け模型を見ながら理解を深めていただきました。その後、杉の原木の皮むきと、その原木が製材機械で挽きたてられ板になる過程を実見し、皆さん、不思議そうな顔をして見入っていました。

最後は木工体験として杉材でのペン立て作りに親子全員で挑戦、参加者のほとんどが初めての体験でもあり、この機会に木の持つ良さ(肌触り、匂い)を感じ取り、感心しながらツアーを楽しんでいました。今回のツアーを通して、生活の中で木材を利用していくことが森林整備につながるということを参加者の皆様に理解していただけたことは、我々木材業者にとって大変嬉しいことでした。



当社はこの企画を皮切りに多摩産材コンクール、多摩産材教材利用を通じて学校関係の方々及び都民の方々に東京の木についての理解を深めるべく引き続き活動を推進していく所存です。

次回の体験ツアーは12月1日土曜日に予定されていますので、「東京都の10月広報」で確認いただきますと申し込み要領が掲載されていますのでよろしくお願いいたします。

以上